

「新・文明の旅」プログラム

17人の派遣生が決定！

文京学院創立100周年に向けて15年間の歳月をかけ、大学生をユーラシア大陸の国々に派遣して、訪問国の大学生と国際交流を図るといふ壮大な「新・文明の旅」プログラム



毎回夜遅くまでの特講を受け、レポートやプレゼンテーションに励んだ派遣生たち

が、創立85周年を機に誕生。2年間の準備期間を経て、第一弾の派遣生が決定しました。

2024年の創立100周年に向けて、文京学院が「教育力日本一」という「てっぺん」を目指す象徴として企画された「新・文明の旅」プログラム。「外」に向けて日本を発信し、多様な情報をキャッチし、新たな創造ができる人間の形成」を目的としたオリジナルプログラムは、独立行政法人日本学生支援機構による「平成23年度留学生交流支援制度」に採択されまし

た。

同プログラムの特徴は、21世紀を生きる学生たちが、欧米だけでなく、アジアを含むユーラシア大陸に目を向ける大切さに触れている点です。具体的には第1回として、トルコ共和国、ブルガリア共和国、ルーマニアを訪問し、現地の大学生との交流を図ります。そのために学生たちは、「新・文明の旅特講a・b」で、各国の歴史・文化・経済など様々な視点で1年間学んできました。

昨年10月にトルコ共和国東部で大地震が発生した際には、受講生の広報学生委員会および有志の学生たちが、本郷キャンパス学生会、ふじみ野キャンパス学生会本部の協力のもと、両キャンパスで募金活動を実施。その義援金はじめ折鶴・激励メッセージを駐日トルコ共和国大使館に届けました。

このように、学生が主体的に訪問国と向き合う中

で、第一弾の派遣生17人が派遣生です（敬称略）。

決定。その紹介の場で、駐日ブルガリア共和国大使館の3等書記官政務担当タニエラ・ニコロヴァさんが派遣生を激励。一ツ谷侑奈さん（外国語学部2年）が派遣生代表として挨拶しました。

まずは、トルコを皮切りに2月29日出発（3月16日帰国予定）するのは以下の【学科】3年||市川未来、田

中琴絵、中鉢真美【保健医療技術学部理学療法学科】

3年||佐々木瞳【同臨床検査学科】2年||五来美里、

ほか引率教職員5名。

なお、日本に残るメンバーは、派遣生が訪問する国々にこころで得た様々な情報や自分たちの活動を伝える大きな役割を担っています。それらについても、順次掲載していきます。